

2025 年度 [春入学(4 月)]

# 広島女学院大学大学院 学生募集要項

人間生活学研究科 修士課程

海外在住外国人特別入試

(秋季・春季募集)

【本学所定出願書類】(以下の書類は、別途ダウンロードしてください。)

入学志願票(A 票)  
整理票(B 票)・受験票(C 票)  
研究計画書  
出願資格審査調書(該当者のみ)  
履歴書

# I. 人間生活学研究科の趣旨と特色

## 《趣旨》

本学は1993年に生活科学部を開設して以来、着実に教育・研究に実績をあげつつありますが、地域社会からは、学校・企業や社会活動など多様な方面で活躍しうるさらに高度な専門知識と能力を持った人格育成が求められています。他方、大学院を志す女子学生が多く、社会人の生涯学習への意欲も高まりをみせつつあります。このような事情をふまえていっそう充実した教育態勢の下で人格陶冶の社会的責任を果たすために、大学院修士課程人間生活学研究科を設置することとしました。高齢化・情報化・国際化・価値観の多様化などにより表象される現代社会において、そこに生きる各世代の人々が心豊かで健康な生活を送ることがなにより望まれ、学校・企業や社会活動など多様な方面で活躍しうるさらに高度な専門的知識と能力を持った人格育成が求められています。本研究科の教育・研究の目標は、かかる時代と地域社会の要請に応えるべく、すぐれた指導的なリーダーとして必要とされる高度で学術的な知識や技能を、学術的な視点を踏まえつつ総合的に探究することにあります。

## 《特色》

- 1) 昼夜開講 ・ 社会人の受け入れ（18：00以降の授業のみで2年間で必要単位が取得可能）
- 2) 男女共学 ・ 留学生の受け入れ

人間生活学研究科修士課程には、生活文化学専攻と生活科学専攻の2つの専攻があります。本課程を修了した人には修士（人間生活学）の学位が与えられます。

本課程では、人間生活の今日的な諸問題を生活文化学専攻では生活文化学的側面から、生活科学専攻では生活科学的側面から解明しようとするものです。教育課程は専攻専門科目と共通科目（専門基礎科目、専門関連科目）から構成されています。各専攻の履修にあたっては、希望により教員専修免許（家庭）、一級建築士免許登録に係る実務経験認定の取得も可能です。

## 〈生活文化学専攻〉

本専攻は、**生活経営**、**生活文化**、**生活造形**に関する科目をもって構成され、高齢化・情報化・国際化・価値観の多様化などの進む現代社会において人間生活がどのように経営され、その基盤の上でどのような生活文化が展開するかを、体系的、専門的に研究します。

**生活経営**に関する科目は、人間が精神的、経済的に自立して生活を営むための諸研究で、人間生活の諸事象を経営・経済・法律の観点から構造的に究明します。

**生活文化**に関する科目は、人間が各時代、各地域で営んできた生活向上への努力とその成果についての諸研究で、まず日本・アジア・アフリカ・欧米の生活文化と比較し、国際的特質についての研究を進めます。

**生活造形**に関する科目は、人間生活の文化的側面を芸術・造形の立場から取り上げ、特に日常の住生活および衣生活における機能と美の創造を追究し研究を深めます。あわせてこれらに用いられる材料およびその性質についての研究を進めます。

**生活文化学特別研究**では、研究テーマに応じて論文・設計指導教員（複数の教員の場合もあり得る）のもとで修士論文・設計作成のための課題研究を行います。生活文化学特別研究Ⅰは1年次後期からの履修ですが、1年次前期から論文・設計指導教員の履修指導・研究指導を受けることができます。

## 〈生活科学専攻〉

本専攻は**健康形成、健康管理、生活環境、地域環境**に関する科目をもって構成され、現代生活における人々の健康な生活と、そのために必要な快適な環境についての諸問題を生活科学的側から研究します。あわせて衣・食・住の生活をとりまく環境条件に関する高度な知識と技能について研究を進めます。

**健康形成、健康管理**に関する科目は、長寿社会での人間の発育・加齢にともなう栄養学的諸課題を総合的に展望し、個人と社会のそれぞれのレベルにおける健康づくりの方法について現象面のみならず、人間の暮らし方の問題を含めて研究を進めます。

**生活環境、地域環境**に関する科目は、衣食住に密接した身近な環境創造を研究するとともに生活環境に近接した環境（近環境）創造を研究します。そこでは自然との共生を主題にした建築学的な環境設計、生活を取りまく化学物質の人体への影響、食品の経路と環境問題、衣材料と衣生活を環境創造に結びつける方法などの研究を進めます。

**生活科学特別研究**では、研究テーマに応じて論文・設計指導教員（複数の教員の場合もあり得る）のもとで修士論文・設計作成のための課題研究を行います。生活科学特別研究Ⅰは1年次後期からの履修ですが、1年次前期から論文・設計指導教員の履修指導・研究指導を受けることができます。

## Ⅱ. アドミッション・ポリシー(入学者の受け入れ方針)

### 教育・研究目標

人間生活学研究科では、家政学の既存の領域に基盤を置きながら現代社会における人間生活の視点を重視し、高度な専門的知見と問題解決のための総合的能力を兼備した職業人や研究者を養成することを目指しています。

### 求める学生像

人間生活学研究科の教育・研究目標を達成する資質を備えた学生として、生活文化学専攻は、「人間が心豊かで生き甲斐のある生活を追求するための方策や諸条件を造形、文化、経営の観点から考究するための研究に意欲を有する人」、生活科学専攻は、「人間の健康な生活とそのために必要な衣食住を中心とした環境を考究するための研究に意欲を有する人」を求めています。

### 選抜方法

人間生活学研究科は、本研究科の教育・研究目標を達成する資質を備えた学生を選抜するために、入学試験において各専攻で必要とされる能力を問う筆記試験、口述試験等を課しています。また、一般入試、特別推薦入試のほか、外国人留学生特別入試、海外在住外国人特別入試、社会人特別入試を設け、留学生や社会人にも広く門戸を開いています。

## 海外在住外国人特別入試 募集要項(人間生活学研究科修士課程)

### 1 募集人員(2025年度 春入学(4月))

人間生活学研究科	生活文化学専攻	若干名
	生活科学専攻	若干名

(男女共学)

### 2 試験日・実施方法

秋季募集：2024年9月30日(月)～10月5日(土)の間で調整

春季募集：2025年2月24日(月)～3月1日(土)の間で調整

Web会議システム「Zoom」等を使用して行います。

\*試験時間は受験票送付時に連絡します。

### 3 試験方法

試験方法		配点	合計
書類審査	出願書類一式	25点	100点
口述試験 (30分)	志望理由、卒業論文(卒業研究)等の研究概要、入学後の研究計画、修了後の展望、日本語能力等について	75点	

### 4 受験上の注意事項

- ① 口述試験はWeb会議システム「Zoom」等を用いて行います。受験者は、「Zoom」等を利用できるパソコン等の機器およびインターネットに接続できる環境を準備してください。試験時に使用する機器に、あらかじめZoom等のアプリをインストールしておいてください。なお、通信料等は受験者の自己負担となります。
- ② 事前に通信確認を行いますので、指示された時間・に接続してください。
- ③ 口述試験は、第3者が入室しない明るく静かな環境で受験してください。
- ④ 口述試験の際は、受験番号を確認しますので、受験票を手元に準備してください。

### 5 出願資格

次の①～④のいずれかに該当する者で、「出入国管理及び難民認定法」による「留学」の在留資格を有する者、または取得できる者

- ① 大学を卒業した者、及び2025年3月卒業見込の者
- ② 学位授与機構より学士の学位を取得した者、及び2025年3月取得見込の者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、及び2025年3月卒業見込の者
- \*④ 本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者  
\*短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者や外国大学日本分校等の修了者などで本学の受験を希望する22歳以上の者は、出願資格審査を受けること。

## 6 出願資格審査(出願資格④の者のみ)

出願資格④により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を行います。(1)の書類を提出する前に、審査を希望することを本学の入試・広報課へE-mailで連絡してください。その後、(1)に示した書類を(2)の期間内に提出してください。

### (1)出願資格審査の書類

次の書類①②のPDFファイルをE-mailに添付して入試・広報課へ提出してください。

その際、E-mailの件名に「大学院出願資格審査の依頼」と明記してください。

- ① 出願資格審査調書(本学所定の様式:別途ダウンロード)
- ② 自著の研究論文(卒業論文等)、著書等(日本語、英語のいずれでもよい)  
自著の研究論文、著書等がない場合は、研究希望課題についての論文とし、日本語の場合は2,000字程度、英語の場合は1,600語程度とする。

### (2)出願資格審査の書類提出期間と提出先

秋季募集:2024年8月5日(月)~8月30日(金)午後5時必着(日本時間)

春季募集:2025年1月6日(月)~1月24日(金)午後5時必着(日本時間)

入試・広報課 E-mail: nyushi@gaines.hju.ac.jp

### (3)出願資格審査結果の通知

提出書類の受理後、約1週間後をめどに連絡します。

## 7 出願手続き

### (1)指導教員との事前相談

出願前に指導教員との事前相談が必要です。本学のホームページ等から教員の研究内容を参照し、希望する専攻及び指導教員との事前相談について、入試・広報課へお問合せください。

### (2)出願期間

秋季募集:2024年9月6日(金)~9月20日(金)午後5時必着(日本時間)

春季募集:2025年2月3日(月)~2月17日(月)午後5時必着(日本時間)

### (3)出願先・問い合わせ先

〒732-0063 広島市東区牛田東4-13-1

広島女学院大学 入試・広報課

TEL: +81-82-228-8365 E-mail: nyushi@gaines.hju.ac.jp

### (4)出願書類

①	志願票A (本学所定の様式)	用紙欄外の〔記入上の注意事項〕をよく読み必要事項を黒ボールペンで記入してください(消せるペン不可)。
②	整理票B・受験票C (本学所定の様式)	用紙欄外の〔注意事項〕をよく読み必要事項を黒のボールペンで記入してください(消せるペン不可)。
③	卒業(見込み)証明書	在籍または出身大学が作成し、厳封したもの。

④	成績証明書	在籍または出身大学が作成し、厳封したもの。
⑤	研究計画書 (本学所定の様式)	本学指導教員との事前相談をふまえた、入学後の研究テーマ及び研究計画の概要を日本語 1,000 字程度で作成してください。
⑥	身分証明書のコピー	本国または在日公館が発行する身分証明書(パスポート)は、記載のあるページを全てコピーしてください。
⑦	在留カードのコピー または住民票の写し	在留カードは、両面をコピーしてください。
⑧	履歴書	用紙欄外の〔注意事項〕をよく読み必要事項を黒のボールペンで記入してください(消せるペン不可)。
⑨	日本語能力を証明 する書類	次の a, b のいずれかの書類(コピー可) 1 通。 a. 日本語能力試験(JLPT) N2 以上の認定結果及び成績に関する証明書(公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金から発行) b. 日本留学試験(EJU)の受験票のコピー(独立行政法人日本学生支援機構から発行) * 日本留学試験の成績(日本語〔読解、聴解・聴読解〕200 点以上)は、2023 年度及び 2024 年度実施のものを利用可能とする。
⑩	日本語教育機関の 成績証明書	〔該当者のみ〕 大学以外の日本語教育機関(日本語学校等)が作成、厳封したもの。

### (5) 出願方法

出願書類一式を A4 サイズが入る封筒に入れ、Express Mail Service(EMS)で必ず出願期間内に到着するように郵送してください。

封筒には「大学院入学試験出願書類在中」と赤字で記載してください。

### (6) 検定料

無料(海外在住者優遇措置による)

### (7) 出願上の注意事項

- ① 一旦提出した出願書類は、いかなる事情があっても返還いたしません。
- ② 入学試験に合格した後であっても、出願書類の記載と異なる事実が判明した場合、入学を取り消すことがあります。
- ③ 受験票が試験 3 日前までに届かない場合は、入試・広報課へご連絡ください。
- ④ 身体に障がいのある志願者等、受験に際して要望がある方は、出願前にできるだけ早く入試・広報課までご連絡ください。

## 8 合格発表

秋季募集：2024年10月11日（金）

春季募集：2025年3月11日（火）

- ① 合格者には合格通知書を、不合格者には不合格通知書を速達で郵送します。
- ② 電話等による合否の問合せには一切応じません。

## 9 入学手続

合格者には合格通知書と共に、入学手続に必要な書類を送付します。

募集	手続	納入期限	納入金の種類
秋季	1次	2024年10月25日（金）	入学金
	2次	2024年12月12日（木）	授業料・施設維持資金の1年次前期分
春季	一括	2025年3月26日（水）	入学金 授業料・施設維持資金の1年次前期分

〔注意〕

\*期限内に納入のない場合は、無効となります。

\*一旦納入された納入金のうち、入学金はいかなる事由があっても返還いたしません。

学費等納入金内訳（2025年度）

区 分	納入区分		初年度 納入金額
	前期分	後期分	
入 学 金	250,000円	—	250,000円
授 業 料	150,000円	150,000円	300,000円
施設維持資金	130,000円	130,000円	260,000円
合 計	530,000円	280,000円	810,000円

\*入学後、実験実習費等実費を徴収することがあります。